

評価報告概要表

全体を通して(※このホームの優れている点、独自に工夫している点など)	
ホームは道路沿いの住宅地にあり、隣りの家と一部密接している。万一の火災を想定して入居者が各部屋から脱出できるようにガラス戸にしてある。又廊下の延長線上にある談話コーナーの天窗は自在に開閉でき、防災に配慮されている。同時にこれらは日頃の換気、採光の役割をしている。ホームは母体法人のデイケアを利用することで入居者の外出支援・身体機能の維持・向上を図っている。職員・入居者とも非常に和やかで落ち着いていて、外部の人も出入りしやすい雰囲気である。又管理者・職員が一丸となり近隣との交流を積極的に促進し、地域にうまく密着している。	
分野	特記事項(※優先順位の高い要改善点について)
I	特に改善点は無い。(現状の維持、そして更なる充実をきたいしたい)
運営理念	
II	入居者の居室には馴染みの生活用品が少ない。個々生きてきた過程から、その人らしい部屋作りで、落ち着いた生活ができることが、環境作りには欠かせない。家族に理解を図り使い慣れた生活用品の持込みを支援されることが望ましい。又寒暖に差がある時期のホーム内の温度調節は、外気との温度差も配慮され、室内の温度計・湿度計を活用され人の居場所が適温であるよう冷暖房機の使用を管理されることが望ましい。
生活空間づくり	
III	日常の生活に於いて1日全体の栄養・水分摂取量の把握は大事であり、メニュー変更やおやつの摂取量については事後に於いてもカロリーの見直しを把握されることが望ましい。又1日の水分摂取についても根拠に基づき把握されることが望ましい。金銭管理の支援に於いて、入居者が金銭管理をすることの大切さを理解され、個々の力量に応じて品物の決定や支払いの場面づくりを支援して欲しい。
ケアサービス	
IV	相談・苦情については重要事項に窓口が明示され、玄関にも掲示なされている。又居室に連絡帳も置かれて受付の体制はできているが、あまり活用がみられない。入居者や家族には訪問時、繰り返し呼びかけることで申し出がしやすい雰囲気をつくり、遠くの家族にはホーム便りで繰り返し呼びかけをして欲しい。相談や苦情を受け付けることで更なるケアの向上を期待したい。
運営体制	

分野・領域	項目数	「できている」項目数	
		外部評価	
I 運営理念			
①	運営理念	4項目	4
II 生活空間づくり			
②	家庭的な生活環境づくり	4項目	3
③	心身の状態に合わせた生活空間づくり	6項目	5
III ケアサービス			
④	ケアマネジメント	7項目	7
⑤	介護の基本の実行	8項目	8
⑥	日常生活行為の支援	10項目	9
⑦	生活支援	2項目	1
⑧	医療・健康支援	9項目	9
⑨	地域生活	1項目	1
⑩	家族との交流支援	1項目	1
IV 運営体制			
⑪	内部の運営体制	10項目	10
⑫	情報・相談・苦情	2項目	1
⑬	ホームと家族との交流	3項目	3
⑭	ホームと地域との交流	4項目	4